



であい・ふれあい・ささえあい
困ったときはおたがいさま

令和2年月 10月発行
発行元 NPO法人 ユーアンドアイ
発行責任者 佐藤真智子

ハローユーアンドアイ

第89号

私たちは・・・

歳をとっても 障がいがあっても 住み慣れた地域の中で その人らしく、
心豊かに暮らしていきける そんな新しい“ふれあい社会”を目指しています。

☆ 温かくて暮らしやすい地域共生社会 ☆ ②

本来ならオリンピックの余韻に浸っている筈の 9 月。日本中いや世界中がコロナに振り回され続けています。皆で集い楽しめる日が早くくることを願うばかりです。

85号で「高齢化が一段と進む状況(所謂 2025 年問題)を乗り切るために“お互いさまの助け合い”があれば」と書きましたが、公的なサービスで生活が充分賄えない時、住民主体の有償ボランティアによる支援があればとても心強い筈。

今、その有償ボランティアによる家事支援や移動サービスを、持続可能な活動とするための国の施策が発出されています。この数年さわやか福祉財団や沢山の方々の努力により、やっと支援に向けて国の制度が変わろうとしています。

今がチャンスです。暮らしやすい安心な地域づくりは、地域に暮らす人たちの肩にかかっています。誰もが通る道。自分自身の将来のため安心のため、出来ることから始めませんか？

コロナは、高齢者などがいつまでも元気で暮らすためのことを、ことごとく否定し動きを狭めています。負けずに頑張りましょう!! (佐藤)

・・・会員さんから・・・

リレートーク

・・・会員さんへ・・・

尾形 洋子さん「コロナ禍のなかで」

どこを見ても聞いても“新型コロナウイルス、で夜が明けて、日没、気持ちも沈む毎日です。早く何とか明るい明日になりますようにと！

自粛中、いつもと同じに思っている、これで良いのかと自問しながら、何事も起こらずの毎日です。感染しないようにと心掛けながら、できる手洗い等から気にしています。

夕方、少し歩こうかと思い、同じコースを 40 分位できるだけ実行しています。毎回逢う方と挨拶からおしゃべりと・・・大師様(だいしさま)の話に！知らないことなので興味津々！何力所かあるということで、街の中を見つけて歩くようになり、新鮮な気持ちです。

家の近くにある大師様は厄除けの大師様のように知らんぷりで通っていたけれど、頭を下げてお礼を言って通るようになりました。

街の中を車で走って見るのと、歩きながら見るのと新しい発見があり楽しみです。老人になってしまったのか？“大師様参り、って年配の人達が集まってお参りして歩いていたのが思い出されます。



★新型コロナウイルスに負けるな！コロナ禍

・・・特別支援教育支援・・・

コロナ感染の広がる中、龍ヶ崎の小中学校でも3月6日から登校自粛が始まり、そのまま一斉休校となり、5月29日に分散登校が始まるまで学校はお休みとなりました。

しかしながら、その間も教育委員会からの委託で、自宅待機できない児童を学校で預かる『学習サポート』のお手伝いとして、5つの学校で約20名の支援員が毎日動いていました。

未知のウイルスということで、感染したら命が危ないかもしれないという恐怖の中で、「感染しない、させない」と細心の注意を払いながら支援に入りました。

また、家庭の状況で支援に出られない方たちにも、介護現場でのマスクの不足を伝えると「少しでも役にたてば」「今はこれくらいしかできなくてこころ苦しいけど」と、何人もの方がマスクを作って持ってきてくれました。中には、支援員のお子さんたちの協力もありました。

毎年8月は夏休みのため支援はありませんが、今年の8月は例年になく猛暑が続く中、支援に入ることとなりました。体調を崩してしまう支援員の方もいましたが、無事に夏を乗り越えることができました。

これから先も今までと違った様々なことが起こるかもしれませんが、みんながいれば何とか乗り切っていけるだろうと思います。

支援員ひとりひとりが原動力であり、宝だなと感じる毎日です。

(飯嶋)



色とりどりのマスク完成！

・・・介護ステーション・・・

コロナ禍の中、コロナ対策、熱中症対策と細心の注意をして訪問介護に従事しています。

コロナ感染症の拡大を受け介護の仕事に欠かせないマスクや消毒液、ビニール手袋の不足が長期化し、介護スタッフが毎日、量販店やドラッグストアを駆けずり回っている頃、訪問介護に伺った利用者の方からマスクが手に入らず、買い物や受診の際に怖い思いをしているとの話を伺いました。

「お役に立てないだろうか？」「介護ステーションでマスクを手作りして差し上げられないだろうか？」色々模索している中、学校支援担当の飯嶋さんから学校支援員の方にも声を掛けて下さるとの嬉しい提案がありました。

そして「手作りマスクを作って差し上げよう」プロジェクト？が実現しました。

関わって下さったヘルパー、学校支援員総勢30名、マスク出来上がり枚数180枚!!ユーアンドアイの底力発揮です。本当にありがたいことです。

6月から順次、訪問介護利用者、予防デイサービスほか利用者の方たちにお渡し致しました。その他に、龍ヶ崎市包括支援センターへも寄贈をさせて頂きました。

訪問した際やデイサービスにいらした際に利用者の方々が手作りマスクを着用して下さり、心温まるお言葉も多数頂きました。スタッフ一同大変嬉しく思っております。

そして賛同して下さった方々に心より感謝致します。ありがとうございました。

(猪)



での各部門の取り組み・活動の様子★

・・・ほのか・・・

自宅にこもりフレイル(健康と介護状態の間)状態になることを少しでも防ぎ、健康状態を維持するためのサービス。

今年で3年目になります。家から出て軽い体操やおしゃべり・買い物・手作業・外出等々を行い、元気になっていく様子を見るにつけ、このサービスの意味とやりがいを実感しています。

比較的な元気な方たちですが、やはり油断はできず、少しでも長く通い続けてくれることを願っています。

(佐藤)



絵を描く活動



栄養バランスを考え、毎回手作りして提供しています。

・・・ぱれっと・・・

ぱれっとに通う子供たちは、3月の休校から始まり、6月の分散登校を終え、7月には通常登校となりました。8月に入りいつもより短い2週間程の夏休みを過ごし、8月後半からは通常登校となりました。子どもたちは休校期間が長くなり、学校に通う代わりにぱれっとで過ごす時間が多くなりました。

世の中では「新しい生活様式」が求められています。ぱれっとでも感染予防をできる限り徹底して活動しています。手洗い・消毒・検温はもちろんですが、おやつ・食事の時には椅子を減らして間隔を開けて食べるようにしています。

毎日使用する送迎車内の清掃・消毒も徹底して行っています。

人と人が関わり合いながら過ごす場所がぱれっとです。活動内容の見直しをはかり、できるだけ接触を少なくした取り組みを心掛けるようにしています。

マスクが苦手だった子どももいますが、親御さんたちの手作りマスクの効果もあり、嫌がらずにできるようになってきました。

今後も感染予防に取り組み、新しいぱれっとスタイルをみんなで築いていけたらと思います。(木島)



ハロウィン工作



親御さんの手作りマスクはお気に入り！！

《ユーアンドアイの動き》 7月～9月

7/13	職員会議
7/16	市民協働推進会議(佐藤)
7/27	公共交通会議(佐藤)
7/30	市民協働推進会議(佐藤)
8/1～16	市内小・中学校夏休み
8/6	市民協働推進会議(佐藤)
8/7	職員会議
8/20	市民協働推進会議(佐藤)
9/2	福祉有償運送運営協議会(佐藤)
9/7	職員会議
9/17	実地指導対策研修会 リモート研修 (木島)

コロナウイルス感染予防のため、予定されていた各種会議等が中止となりました。

※学校話し合いは定期的にケースごとに行っています。



～事務所からのお知らせ～

<事務所利用時のお願い>

・コロナウイルス・インフルエンザ等の感染予防のため、事務所へ出入りの際はマスク着用をお願いします。

・事務所出入り口の道路では歩行者・自転車に注意して下さい。

<年末年始>

12/29(火)～1/3(日) 事務所はお休みです。



編集後記

毎年秋になると、息子の試合や地域のイベントなど休日は忙しい日々を送っていましたが、今年は予定がなく、ゆったりとした時間が過ごせそうです。読書・お菓子作り・料理・掃除・手芸・DIY・散歩・サイクリング・園芸などなど。遠出せずに自宅で過ごす時間を楽しみたいと思います。

(K×2)

NPO 法人ユーアンドアイ

〒301-0845

茨城県龍ケ崎市奈戸岡 2-195 番地

電話(平日 9:30～17:00) 0297-62-2667

FAX: 0297-62-2698

ホームページ <https://www.npo-ibaraki.or.jp>

ご意見・お問い合わせメールアドレス

yu-and-ai@npo-ibaraki.or.jp